

今の自分を知ろう
～夢の木カードの取組～

福山市立大谷台小学校
校長 四良丸 優子

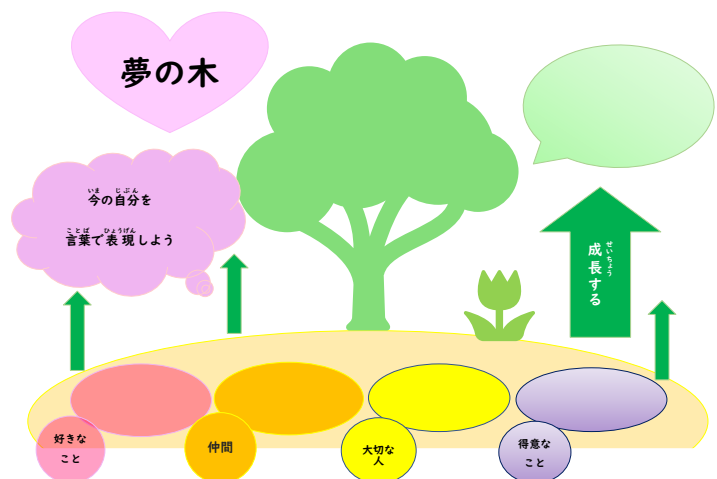
三振した数 928 打たれたヒットの数 647 ホームランを打たれた数 59 失点数 281…二刀流が無理だと言われた回数∞ 二刀流が無理だと思った回数0, 失敗の数だけ成長できるというセールスフォース・ジャパンのコマーシャルをご覧になったことはありますか。

6月14日の全校朝会で、植物の成長には太陽の光、水、空気、温度、肥料が必要のように、人間にも勉強、運動、遊び、学び、夢が必要であることをクイズ形式で確かめていきました。学校は一人ではなく、友だちと仲間と学ぶからいろいろな考えにも出会うことができる、共に伸びる力があふれてくるところであるということを話しました。

そして、好きなことを続ける 小さな目標を立てて毎日取組んできたという「大谷翔平選手」を紹介しました。何もしなければ失敗もしないけど 成長もできないという話を子どもたちには繰り返していますが、それは大谷選手の失敗の数だけ成功できるというコマーシャルと全く同じことです。

そのために「夢の木カード」として「好きなこと」「仲間」「たいせつな人」「得意なこと」を書いて自分の目標を立てていこうと話しています。

朝会の時にこの項目を一つずつインタビューしてみると、たくさん手が挙がり「好きなことは遊ぶこと、話すこと」「仲間はクラスのみんな」「大切な人は家族 友だち」「得意なことはピアノ サッカー 人を笑わせること」など自信を持って答えていました。このカードは今の自分を理解することにもつながります。それは広島県 15 歳の付けたい力の三つのうちの一つにあたります。15 歳になって考えるのではなく小学生の時からずっと育むことが大切です。



その後、各クラスでカードに記入する時間を取りました。そのカードを見ると「なりたい人」「なりたい自分」「なりたい職業」など、一人ひとりの思いが伝わってきました。

広島県 15 歳の付けたい力

自分を理解する自己を認識する力

自分の事を相手に伝える表現する力

自分のやりたいことや夢を、目標など自分で考え、選択し自分の意志で決める人生を選択する力

これからもこの三つの力を付けるための取組を実践していきたいと考えています。

夢の木カード、ご家庭でも子どもたちとお話してみてください。